



飯田みどりさんの言い分

日曜日の午前中、図書館でばったり会ったえり子さん
にさそわれました。

「今日のピアノのけい古、いっしょに行かない？ 三時
と四時のどっちがいいか、お母さんに聞いて電話する
ね。待ち合わせは、いつもの広場でね。」

「ええ、いいわよ。」

わたしはえり子さんと約束して、家に帰りました。

午後、えり子さんからの電話を待ちながら、二階の自
分の部屋でピアノの練習をしていましたが、一向に電話
はきません。一時になったので、一階でテレビを見てい
た母に、えり子さんからの電話がなかったかと聞くと、
「ちよっとおとなりに行ってたので分からないけれど、
かかってこなかったと思うわよ。」
と言われました。

（ふうん。えり子さん、どうしたのかしら。早めに電話
をくれてもいいのに。）

もうしばらく待ってみましたが、落ち着かないので、こちらから電話をかけてみました。すると、えり子さんのお母さんが電話に出て、

「えり子は、今、おつかいに行っています。でも、すぐ帰ってくると思いますよ。」

と言われました。時計を見ると一時半でした。三十分もあれば、えり子さんも帰ってくるだろうと思っただけ、

「では、二時にいつもの広場で待っていますと、えり子さんに伝えてください。」
と言付けをたのんで、電話を切りました。

二時になったので、自転車で約束の広場に行ってみましたが、えり子さんのすがたはありません。三十分近く待ちましたが、それでもえり子さんは来ませんでした。

（何をしているのだろう。自分からさそってにおいて、電話もしないし、広場へも来ないなんて。）

三時にはまだ時間があるけれど、わたしは、一人でピアノのけい古に行くことにしました。ピアノ教室に着いてしばらくすると、えり子さんがやってきました。三時ぎりぎりでした。えり子さんは、

「ごめんね。あの……。」

と、言いわけを始めたけれど、わたしは、

（何よ、約束をやぶっておいて、今さら。）

と思い、知らん顔をしました。

もう、えり子さんとは、あまりつき合いたくなくなりました。





中村えり子さんの言い分

今日は、飯田さんといっしょにピアノのけい古に行く約束をしました。時間は、わたしから電話することになっていました。

ところが、ちょうど昼ごろ、ひさしぶりに親せきのおじさんたちがたずねて来られ、母に、「スーパーマーケットへ行って、お肉とたまごと夏みかんを買ってきてちょうだい」とたのまれてしまったのです。

わたしは、けい古の時間を四時にしようと、飯田さんに電話をかけましたが、だれも出ません。しばらく待ちましたが、急いでいるのであとでまたと思い、かけ足でスーパーマーケットへ向かいました。

日曜日のスーパーマーケットは、とてもこんごつしていました。人の間をかき分けるようにして、品物をかごの中に入れ、急いでレジのところへ行くと、どのレジにも十五、六人ぐらいならんでいました。

(こまったなあ。飯田さんに早く電話しなくちゃいけないけれど、電話をかけているとよけいにおそくなるだろう。)

と思い、列にならびました。やっとお金をはらって外へ出たときには、ずいぶん時間がたっていました。家に帰ると母が、

「おそかったわね。飯田さんから電話があつてね、いつもの広場で二時に待っているそうよ。」

と言いました。

「わあ、大変。店がこんでいて、なかなか順番が来ないんだもの！」

わたしは、大急ぎでじゅんぴをし、全速力で走って広場へと向かいました。広場には、二時四十

分ごろに着きましたが、飯田さんのすがたはありませんでした。

(もう、ピアノのけい古に行ったのかしら。勝手に二時なんて時間を決めて、こっちの都合もあるのに……。)

しばらくはベンチにこしかけたり、立ったりして待っていました。

教室で飯田さんに会ったので、すぐにあやまりましたが、無しされてしまいました。

(わたしにだっていろいろわけがあったのだから、仕方がないじゃない。)

もう、飯田さんのことは、さそいたくはないと思いました。

考えよう 話し合おう

学習の道すじ

みどりさんとえり子さんのすれちがいを通して、考えや思いを伝え合い、相手を理解し、みとめることの大切さについて考える。

●二人は、どうしてたがいに相手に対してはらを立てたのでしょうか。

●もし、相手の事じようを知っていたら、二人はそれぞれどんなことを考えたでしょう。

●二人にアドバイスをするとしたら、あなたならどんなことを言ってあげますか。

●相手と意見や考えがちがうとき、たがいに分かり合うには、どんな心が大切なのでしょう。

